

第 40 回

印刷 年始会



日 時

H30.01.26日 17:30~

場 所

城山観光ホテル
3Fサファイアホール 飛鳥



開催事務局
鹿児島県印刷工業組合

第40回 印刷年始会プログラム

司会 月野 るり子

開会

国家斉唱

祝宴

フルート 青野 なほ 様

ファゴット 南 由 希 様

ピアノ 平塚 あすか 様

主催者挨拶

鹿児島県印刷工業組合理事長 岩重 昌勝

来賓紹介

祝辞

鹿児島県知事 三反園 訓 様

中小印刷産業振興議員連盟 衆議院議員 宮路 拓馬 様

祝電披露

開宴

乾杯

日本銀行鹿児島支店 支店長 林 健司 様

閉会の前に

九州印刷材料協同組合 理事長 土井 健二 様

中締め

鹿児島県印刷工業組合 副理事長 岡崎 洋人

来賓ご芳名

◇鹿児島県知事

三反園 訓 様

◇鹿児島市副市長

松 永 範 芳 様

◇日置市市長

宮 路 高 光 様

◇日本銀行鹿児島支店

支店長 林 健 司 様

◇中小印刷産業振興議員連盟

衆議院議員 宮 路 拓 馬 様

◇鹿児島県議会議員

福司山 宣 介 様

◇鹿児島市議会副議長

崎 元 博 典 様

◇株式会社商工中金鹿児島支店

支店長 平 田 知 伸 様

◇株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店

中小企業事業統轄 広 瀬 重 弘 様

◇株式会社鹿児島銀行

常務取締役 寺 山 信 一 郎 様

◇株式会社南日本銀行

常務取締役 松 下 弘 志 様

◇株式会社島津興業

取締役相談役 島 津 公 保 様

◇鹿児島県中小企業団体中央会

専務理事 永 田 福 一 様

◇鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問

鹿児島市議会議員 小 森 孝 文 様

友好参加者

◇医療法人聖心会かごしま高岡病院

理事長 高 岡 茂 様

◇山下仁税理士事務所

所長 山 下 仁 様

◇城山観光ホテル(株)

常務取締役 玉 川 恵 様

◇株式会社 KRC

集团扱い担当 黒 田 従 久 様

◇株式会社南生電工

総務部 南 由 希 様

※お願い 乾杯のあと20分ほどは、お席をお立ちにならないようにお願いします。

※来賓ご芳名は順不同とさせていただきます。



印刷年始会に寄せて

鹿児島県印刷工業組合
理事長 岩重 昌勝

平成30年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

組合員並びに賛助会員そして関連産業の皆様にかかれましては平素より組合活動へのご理解とご協力を賜り心より厚く感謝申し上げます。昨年は隣国の北朝鮮や韓国に翻弄された一年でございました。北朝鮮の核開発は誰も予想もしていなかった段階まで進展しておりトランプ大統領がいつ開戦に踏み切るかと非常に心配しました。また韓国では慰安婦問題に関し不可逆的な解決を国家間で締結したにもかかわらず、為政者が変わったので約束の履行は無理ですという信じがたい対応となり、彼の国への不信は一層深まっております。国内では民進党の事実上の瓦解で野党の再編が議論されておりますが、右と左の綱引きで国民は蚊帳の外といった感じです。

また7月には福岡・大分で集中豪雨となり、特に福岡県朝倉市では時間雨量129.5ミリを記録し多くの犠牲者を出しました。一昨年の熊本・大分大地震に続き、今回は大雨による水害となりました。多くの被災者は現在も尚、避難所生活を余儀なくされております。一日も早い復興と安らげる我が家の再建を祈るばかりです。

このようななか大企業の業績の復調に比べ中小企業の景況は甚だ不透明であり、印刷業界でも年々縮小する需要に昨年の資材高騰が拍車を掛け、経営環境は厳しさを増しました。また働き方改革による集荷配送時間の見直しが納期短縮を誘発しております。このような厳しい経営環境を改善し社会に貢献できる業界を構築する為に鹿児島県工組も行政機関や全印工連、県中央会のご支援を仰ぎつつ、各県工組と連携して取り組んで参ります。結びに本年が皆様にとって実り多き素晴らしい一年となりますよう祈念して新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

鹿児島市長 森 博幸

平成30年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

貴組合におかれましては、業界の発展はもとより、事業活動を通じた地域経済や文化の振興に大きな役割を果たしておられますことに深く敬意を表しますとともに、かねてから市政の各面にわたり温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、わが国では、先行きの不透明感が高まる世界経済や国内における少子高齢化・人口減少問題の顕在化など、さまざまな困難に直面しており、とりわけ人口減少問題の克服は、国・地方が総力を挙げて取り組むべき喫緊の課題となっております。

このような中、本市では、第五次総合計画の都市像に「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市 かがしま」を掲げ、市民の皆様が真に“豊かさ”を実感できる都市の実現に向けて、新産業の創出や企業立地の推進など、魅力的で安定した雇用の創出に努めるとともに、「女性活躍アドバイザー」の新設や「かがしま市しごと情報ナビ」の開設など、次代を担う若い世代や女性、高齢者など、誰もがいきいきと働ける環境づくりに努めてきたところです。

折しも、今年は、明治維新150年という歴史的な節目の年であり、1月にはNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送も始まりました。この絶好の機会を最大限に生かし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立とともに、これを支える「まち」に活力を呼び込むための取組を力強く進めてまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、これまで長きにわたり培ってこられた高い技術力や企画・発想力を存分に発揮され、地域経済や文化振興の牽引役として一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸、業界の益々のご発展を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。



新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会
会長 白田 真人

明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、10月に開催いたしました「全印工連フォーラム」には、全国から300名を超える方々にご参集いただき、全印工連事業をより一層ご理解賜り、あわせて組合員の団結と協調を再確認することができました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、全印工連が全日本印刷産業政治連盟（全印政連）とともに予てより提言を続けてまいりました官公需における知的財産権の適切な取り扱いについて、「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に『知的財産権の財産的価値について十分留意した契約内容とするように努めるものとする』と盛り込まれたことは、全印工連および全印政連の多年にわたる活動の大きな成果であり、課題解決に向け大きな一歩を踏み出すことができました。1社では解決できない課題を前進させることが業界団体の責務であり、全印工連の存在価値をより高めることができたのではないかと自負しております。今後は、関係各位、組合員各位のご協力により、その実効性を高める活動に注力してまいります。

さて、昨年日本経済は、緩和的な金融環境と政府の大型経済対策の効果を背景に、11月には日経平均株価がバブル崩壊後の戻り高値を超えるなど拡大が続いているとの報道がありました。中小印刷業界は原材料および運賃の値上がり等、依然として景気回復の実感が伴わない不透明感の残る年となりました。

このような中、全印工連は広報の強化、事業承継支援、環境労務対策、組合員および各種共済制度の加入促進、新印刷営業講座の実施、ダイバーシティ・マネジメントによる多様な人材の活用、CSR普及活動、資機材問題への対応、官公需対策、遠隔セミナーの実施等、個企業単独では取り組むことが難しい課題解決に努めてまいりました。印刷業を取り巻く環境が大きく変化する中で、本年も組合員の皆様に役立つ印刷工業組合、価値ある印刷工業組合を目指し、各種事業を効果的に融合・連関させながら推進いたします。社会の期待に応えていくことが産業の使命であり、これを「志」として全国の組合員企業と共に、自信を持ってさらなる一歩を踏み出す年にしたいと考えております。皆様には一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正 芳史

平成30年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

かねてより、本会の事業推進につきまして、多大なるご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、我が国経済は、大企業を中心に景況感は改善傾向にあると言われております。

しかしながら、人口減少や少子高齢化による人材不足や「働き方改革」などへの対応が切迫しており、中小企業が力強い成長を遂げていくためには、生産性向上に取り組むことが急務となっています。

貴業界におかれましても、電子書籍の発展や印刷の内製化等により印刷需要の減少が続いていますが、こうした状況に対応するためには、最新技術や設備を活用し、組合員一丸となって印刷産業のイノベーションに取り組み、新たな需要拡大を目指していくことが必要です。

このような中、政府は昨年12月、「人づくり革命」や「生産性革命」の実現に向け、新たな経済政策パッケージを閣議決定しました。

中でも、「ものづくり補助金」では、1千億円を超える予算が計上されるほか、固定資産税の減免措置や円滑な世代交代を目的とした事業承継税制など、中小企業の経営力向上を柱とした手厚い施策が予定されています。

本会では、「ものづくり補助金」の地域事務局として、この5年間で延べ500社以上の県内中小企業者に対し、50億円以上の設備投資を後押ししてきました。

本年も本補助金が継続することで、県内経済の振興・発展に大きく貢献できるものと期待しております。

併せて、従来からの組織化施策を中心とした様々な支援メニューを通じて地域経済の発展と活性化に役職員一丸となって全力で取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様方にとりまして、さらなる飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



年頭挨拶

昨年の実績からさらに一段踏み出そう

全日本印刷産業政治連盟 会長 森永 伸博

平成もよいよ30年の節目を迎えました。会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

会員の皆さまには、平素より、全印政連の活動に対しましてご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、自由民主党・中小印刷産業振興議員連盟にご加入の国会議員の皆さま、関係省庁、関係団体等の皆さまには、中小印刷産業振興のため、継続的に多大なるご尽力を賜り、あらためて感謝申し上げます。

さて、昨年は、全印政連にとって新たに大きな一歩を踏み出した年でした。7月25日に閣議決定された「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に、印刷の契約における受注者の著作権の財産的価値等への配慮が追記されました。具体的には「受注者の著作権の財産的価値を認めること」「発注者の著作権の利用目的を明確にすること」「コンテンツ版バイ・ドール契約の推進」の3点を柱に推進するとの方向性が盛り込まれています。

これにより、中小印刷産業が長年願っていた官公需取引での適切な知的財産権の取り扱いが受け入れられる形となりました。会員の皆さまの各地での粘り強い働き掛けが推進力となり、議員連盟、関係省庁の多大なるご支援・ご協力のもと、実現することができました。

ただ、これはゴールではありません。平成30年はその実効性を高める方策を展開していくステージへと一段、踏み出していかなければなりません。全国の地方自治体に対し、新しい基本方針遵守の徹底を図るよう、要請していく必要があります。議員連盟の皆さまのさらなる後押しとご支援をいただきながら、次につながる成

果を残せるよう、前進していきたいと考えております。

私は平成24年に全印政連会長を拝命して以来、折りに触れて申し上げておりますが、中小印刷産業が業界運動を進める上で、また、事業者として安定的、継続的に収益基盤の拡大を図っていく上で、政治の力は必要不可欠だと考えております。印刷組合だけでは絶対解決できない問題が数多く存在します。

私たちの願いを解決に向けていくには、議員の皆さんに支えていただきながら、行政に要請する流れを強めた方がスムーズです。昨年、知的財産権の問題で突破口が大きく開けたのはその証左にほかなりません。国会や各地の議員の皆さまと、会員の皆さま一人一人とが築いてきたパイプが生きた好事例となりました。

議員連盟は平成25年に創設され、現在113人にご加入いただいております。大きな勢力となっております。また、その中から6人が入閣しており、誠に心強い限りです。

全印政連としては今年も引き続き、中小印刷産業全体の発展を目指して、会員の皆さまの要望をくみ上げ、一丸となってさらに前進していけるよう努めるとともに、政策要望の実現や具体的な施策を打ち出していただけるよう、議員連盟をはじめ各方面に鋭意、働き掛けてまいります。

今、議員連盟との連携は強固なものとなっております。関係官庁との議論の場も大きく広がっています。それに伴い、全印政連の役割の重要性は一層高まっています。全印工連と緊密に連携し、機動的に行動していく所存です。

今年も引き続き、全印政連の活動にさらなるご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

全印政連と自民党議連が恒例の交流会

白田全印工連会長「各地域を活性化、日本経済リードする存在に」と決意
「官公需取引の適正化、今後は実効性後押し」と伊藤議連幹事長



▲山本前地方創生相(壇上中央)の発声で乾杯

全日本印刷産業政治連盟(森永伸博会長)と自民党中小印刷産業振興議員連盟(中曽根弘文会長)の交流会が昨年11月26日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で開催され、互いの親交を深めた。

議連からは所属議員、代理人合わせて61人が出席した。



▲全印工連 白田会長

全印工連の白田真人会長はあいさつで「私ども中小印刷産業は47都道府県津々浦々に存在し、事業者数、出荷額からもまさに、各地域の基幹産業といえる。これから先もさまざま形で経営環境が

変わるだろうが、今まで以上に地域と密接に、また、共に成長していくという覚悟をもって歩んでいきたい。各地域の活性、ひいては印刷産業がしっかりと日本の経済をリードできるような存在となれるよう、先生方には今後ともご支援ご指導をお願いしたい」と語った。

続いて、議連の伊藤達也幹事長(衆院議員)は「皆さまの応援団として今年も適宜、総会を開催し、全印工連のその時々課題を私どもの政治の問題としてとらえ、さまざまな取り組みをしてきた。今年最大のテーマはやはり、官公需取引の適正化で、7月



▲伊藤幹事長

25日の閣議決定の中で、著作権の適正な取り扱いについて基本方針の中に明記することができた。これは重要な前進になったと思う。今後はその実効性を確保していかなければならないので、議連を挙げて取り組みと後押しをしっかりとさせていただきたいと思う」とあいさつした。

乾杯の発声は山本幸三前地方創生相が行い「選挙ではポスターやパンフレットなど、皆さんにお世話になっている。皆さんの仕事にさらに発展するよう祈念する」などとあいさつした。

歓談中には、出席議員とその選挙区的全印工連役員が共に登壇し、スピーチした。

「Connected Industries」の姿を解説 29年度勉強会 経産省IT担当審議官が講演

全印政連は交流会に先立ち、平成29年度勉強会を開いた。経済産業省商務情報政策局でIT戦略を担当する吉田博史・大臣官房審議官が「印刷産業と『Connected Industries』」をテーマに講演した。

吉田氏はまず、いわゆる第4次産業革命への対応の結果として国が標榜している「Society 5.0」と、それにつながる産業の在り方としての「Connected Industries」について解説。その上で、印刷産業に対して「IoTやAIなどの進展で、印刷ニーズが減少するとのとらえ方ではなく、生産性向上や新事業展開により、新たな顧客を獲得できる機会が到来したと考え、検討することが大事だ」と語った。

IoT活用の方向性としては①印刷事業の企業間連携(企業間アライアンスでデータ連携、主要資材の共同調達など)、②印刷事業の前後にある事業発掘(IT・IP等の活用)、③印刷事業以外の新事業構築(他業種

との連携＝VR・AR事業参入）一などを挙げた。
また、経産省の印刷業界に対する支援策として、印刷契約における著作権の権利範囲の明確化への取り組みや、事業継承・再編・統合による新陳代謝の促進、IT活用に向けたメニューなどを紹介した。

「Connected Industries」は、従来ばらばらに管理され、連携していなかった事業所・工場、技術等の電子データ化に対して、データを連携し有効活用することにより、国内産業の競争力を高めようとする考え方。国は、産業用ロボットや「カイゼン」等へ続く、日本の新たな強みに育てることを目指している。

吉田氏は「IoTにより、ロボット、自動車、インフラなどさまざまなシステムを提供する日本企業が、最初にこれらからデータを取得し、データビジネスに参入できるチャンスが到来している」と説いた。



▲ 高度なデータ融合について解説する吉田氏

業界・政策ニュース

官公需の「知財権」啓発へパンフ

「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に新たに講ずる措置として、「知的財産権の



財産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」という文言が盛り込まれた。

これは、全印工連および全印政連が予てから提言を続けてきた大きな成果であり、官公需における著作権

の無償譲渡等の不合理性を改めるものである。

全印工連では、「基本方針」における知的財産権の財産的価値および印刷用データ等の中間生成物の権利（所有権）の適切な取り扱いの実効性を高めるため、パンフレット『大きく変わる知的財産権の取り扱い 官公需における知的財産権』（A4判・12ページ）を作成し、その周知・普及に努めることとしている。

パンフレットは組合員へ配布するとともに、地方公共団体等にも工組を通じて届け、印刷物発注担当者に官公需における知的財産権の適切な取り扱いの理解をより深めてもらうよう活用する予定である。

自民党「政策懇」で森永会長が意見

自民党は昨年11月7日、東京都千代田区の党本部で、9つの業界団体等を招いて政策要望を聞く「予算・税制等に関する政策懇談会」を開催した。全印政連からは森永伸博会長らが出席した。

森永会長は、官公需分野について3項目の意見を述べた。

まず、最低制限価格制度の導入と予定価格の適正化について、地方自治体への強い指導を要望した。平成29年度の「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の中で、ダンピング防止策として「最低制限価格制度の積極的な導入・活用」が記載されているのに対し、森永会長は「現在、印刷の場合、導入されているのは22都道府県にとどまっている。また、最低制限価格制度の適切な運用のためにはしっかりとした予定価格を積算することが絶対条件となるが、前年の実績を参考にしてその額の「7掛け・8掛け」というケースが多く見られる。これでは、最低制限価格制度を導入した意味がない」と現状を説明した。

続いて、知的財産権への対応を要請した。基本方針に「知的財産権の財産的価値に十分留意した契約内容とするよう努める」との文言が盛り込まれたのを受け、「現在、印刷物の契約では、仕様書などに、印刷物の制作にかかわる著作権は『県や市など発注者に帰属する』『無償で譲渡する』といった記載が多い」と訴え、「今回の文言の追加をきっかけに、地方自治体へ知的財産権の適切な取り扱いについて強力な指導をお願いしたい」と語った。

最後に、MUDの活用促進について言及し、「中小印刷業界では、メディア・ユニバーサルデザインの活用推進を積極的に進めている。東京オリンピック・パラリンピックの開催や超高齢化社会到来への対応として、印刷物の制作に当たっては、文化、言語、国籍、老若男女、障害の有無を問わず、誰もが安心して正確な情報を得ることができるメディア・ユニバーサルデザインの採用を促進し、より良い社会環境づくりに向けた積極的な取り組みを行っていただきたい」と提案した。

国会議員も 中小企業支援

全印政連の活動に期待

事業承継税制を抜本改正

—10年特例

自民党 衆議院議員 松島 みどり



明けましておめでとうございます。東京14区（墨田区、荒川区、台東区の北部・中部）という、中小印刷会社の多い地域から、皆様のお陰さまで、6回目の当選を果たすことができました。

東京都印刷産業政治連盟の皆様からお伺した「都営地下鉄の路線図は色弱者でも判別して見られるが、東京メトロは色の違いがわからない」という言葉が非常に印象に残り、公共機関の印刷のありかたについて考えさせられました。

私が初当選以来、力を入れてきた「事業承継税制」が昨年末の税調で、今後10年間、代替わりを促進する目的で、画期的に改善することになりました。通常国会で法改正し、1月1日にさかのぼって施行となります。

まず、事業承継時の贈与税・相続税の支払負担をゼロにします。将来、廃業などで課税される場合は、承継時ではなく、廃業時の低い評価額を基に納税額を計算します。

人手不足を踏まえ、雇用要件を実質的になくします。親族外を含む複数の株主から、代表者である後継者（最大3人）への承継を対象にします。（これまで1人→1人の場合だけ適用だった）

今後とも、ご指導よろしくお願い申し上げます。

中小企業施策を今後も強化

自民党 衆議院議員 左藤 章



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月に行われた衆院総選挙におきましては、皆様のご支援を賜り、5期目の当選を果たすことができました。心より感謝申し上げます。

さて、日本経済はアベノミクスで回復傾向にあるなか、中小企業では大企業のような実感が無いのが現実です。そのような中、年末の税制改正にて、生産性向上のため新た

な設備投資を強かに後押ししようと固定資産税の3年間の軽減（ゼロ～1/2）が受けられるようになりました。また、事業継承の贈与税の負担を軽減するため要件の緩和をし、今後10年間拡充します。そして、「親族外への事業継承（M&A）の支援」「IT機器等の少額減価償却資産の導入」「定額控除上限額（800万円）までの交際費の損金算入の2年間延長」等をし、中小企業・小規模事業者に対して支援をしていきます。また、印刷業界においても、官公需の取引における著作権の取り扱いについての「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の下、知的財産権の価値について留意をした契約になるよう我々もしっかり取組んでまいります。

本年も素晴らしい年になりますよう、貴連盟をはじめ貴組合員各社のご発展と関係各位のご多幸と健康を心より祈念申し上げますとともに、本年も引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

適正取引・付加価値向上今後も

自民党 衆議院議員 鈴木 淳司



新年明けましておめでとうございます。また平素より全印政連の皆様には大変お世話になり、先ずもってお礼申し上げます。自民党中小企業・小規模事業者政策調査会副会長兼幹事長の鈴木淳司でございます。

さて、全印政連におかれましては昨年7月に閣議決定されました「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」につきまして、官公需取引の適正化を実質的に進展させる財産「著作権」の周知・啓蒙活動などの取組みを展開され、「中小企業・小規模事業者」の経済好循環の為の施策継続を後押ししていただきましたこと、感謝申し上げますと共に改めてお礼申し上げます。

現在我が国の経済環境は改善傾向を示す指標も相次いで発表されている一方で、業種や地域では景況感の格差も表れており、「中小企業・小規模事業者」を取り巻く環境は未だ問題が山積していると言わなければなりません。適正取引や付加価値向上の浸透・徹底を図るための施策は今後も強力に押し進めなければならず、私といたしましても今後も微力ながら全力で取り組んで参る所存です。全印政連の皆様におかれましては、引き続き厳しいご指導賜りますようお願い申し上げますと共に、本年が良い一年になりますようご祈念いたします。

組合関係参加者

- (株)朝日印刷**
代表取締役 前田 城 輔 ⑪
取締役生産管理本部長 野上 宗 一 ⑪
取締役営業本部長 小長 郁 夫 ⑪
執行役員資材管理室長 永井 弘 毅 ⑪
プリプレス部長 牛濱 康 博 ⑪
営業部マネージャー 迫田 正 広 ⑪
営業部マネージャー 手島 洋 人 ⑪
生産管理本部長 有馬 鉄 郎 ⑪
- 天野印刷(株)**
代表取締役 天野 玄 一 ⑱
専務取締役 天野 完 二 ⑱
取締役営業部長 木佐貫 良 一 ⑱
- エス・パックス(株)**
取締役営業部管掌 武田 康 吾 ⑧
営業1課課長代理 入部 陽 介 ⑧
- オダ精巧社印刷(株)**
代表取締役 三重野 孝 一 ⑱
- かわち印刷(有)**
代表取締役 河内 志 郎 ⑱
- (有)錦江印刷**
専務取締役 岩倉 克太郎 ⑱
- キヤノンマーケティングジャパン(株)**
鹿児島営業所所長 小牟禮 利 光 ⑱
プロダクション営業推進課チーフ 田中 修 一 ⑱
- (株)共同紙販ホールディングス**
代表取締役社長 郡司 勝 美 ⑥
取締役常務執行役員 金谷 吉之助 ⑥
執行役員鹿児島支店長 小斉平 均 ⑥
営業部副部長 上原 康 治 ⑥
営業部次長 小西 哲 也 ⑥
営業部次長 新屋 直 生 ⑥
- 児島洋紙(株)**
取締役社長 安部 城 治 ⑨
鹿児島営業所所長 梶井 秀 一 ⑨
鹿児島営業所係長 小吹 健太郎 ⑨
- (有)昌和堂印刷**
代表取締役 安楽 眞 一 ⑱
- (有)創文社印刷**
代表取締役 井ノ口 充 博 ⑱
二町 孝 之 ⑱

- (有)新光印刷**
代表取締役 宮武 秀 一 ⑱
- (株)千代田サブライ**
営業部長 古賀 俊 徳 ⑱
営業課長 長谷 昇 ⑱
- (株)トライ社**
代表取締役 濱田 眞 民 ⑱
専務取締役 黒瀬 廣 幸 ⑱
常務取締役 山口 慎 吾 ⑱
- 日進印刷(株)**
専務取締役 平野 知 宏 ⑱
取締役製造部長 児玉 淳 二 ⑱
営業部部長 渡辺 輝 人 ⑱
- 濱島印刷(株)**
代表取締役社長 前田 幸 一 ⑤
生産本工部長 石崎 研 郎 ⑱
- プリントネット(株)**
代表取締役 小田原 洋 一 ⑱
販売営業部課長 鳥丸 正 美 ⑱
- (株)益山印刷**
代表取締役 益山 正 義 ②
- 南日本印刷材料(株)**
代表取締役 池田 輝 幸 ⑱
- (株)南日本新聞開発センター**
取締役 熊須 修 一 ⑱
課長 溝口 潤 ⑱
- (有)モタニ印刷**
代表取締役 茂谷 浩 司 ⑱
- 協業組合ユニカラー**
理事長 岩重 昌 勝 ①
専務理事 鈴木 順 子 ⑱
常務理事 新勝 彦 ⑱
常務理事 松崎 洋 一 ⑱
営業部部長 生野 忠 男 ⑱
営業部次長 大山 保 ⑱
管理課課長 東 文 孝 ⑱
枚葉印刷課課長 新山 治 ⑱
輪転印刷課課長 荷福 敦 ⑱
仕上課課長 徳永 友 廣 ⑱
営業部課長 染川 勝 大 ⑱

- (株)レイメイ藤井**
常務取締役洋紙事業本部長 兼熊本本店長 西野 慎 一 ⑧
洋紙事業本副本部長 前川 統 里 ⑧
- (株)レイメイ藤井鹿児島支店**
顧問 新原 治 秋 ⑧
取締役支店長 中城 幸 司 ⑧
洋紙部課長 江口 修 一 ⑧
洋紙部 田中 公 平 ⑧
- 富士ゼロックス鹿児島(株)**
営業統括部統括部長 屋久 浩 一 ⑱
第一営業所所長 白石 幸 伸 ⑱
第一営業部専任課長 大田 裕 之 ⑱
- (株)イースト朝日**
常務取締役 末永 信 一 ⑱
生産部部長 前屋 芳 文 ⑱
取締役経営企画室長 東垂水 美代子 ⑱
- (有)高崎製本**
代表取締役 高崎 勝 喜 ⑱
- (株)あすなろ印刷**
代表取締役 加世堂 雅 美 ⑱
専務 加世堂 雅 樹 ⑱
- (株)キングコーポレーション**
鹿児島支店長 宮園 芳 秋 ⑱
係長 田中 清 貴 ⑱
- 大阪シーリング印刷(株)鹿児島営業所**
営業2課課長 鮫島 慶 太 ⑱
- 株式会社新生社印刷**
代表取締役社長 岡崎 洋 人 ⑥
- (有)日之出印刷**
代表取締役 内匠屋 茂 禮 ⑱
- 新大同印刷(株)**
取締役会長 宮司 保 ⑱
- (有)ブロックスタジオ**
代表取締役 安田 孝 治 ⑱

関連業界ご芳名

- (株)網中**
代表取締役 網中 裕 城 様 ⑦
鹿児島支店支店長 大串 隼 人 様 ⑦
神園 絢 也 様 ⑦
- 王子製紙(株)九州営業支社**
支社長 筒井 秀 志 様 ③
- 九州印刷材料協同組合**
理事長 土井 健 二 様 ③
副理事長 樋口 幸 嗣 様 ③
- 九州大日精化工業(株)**
代表取締役社長 伊藤 聡 一 郎 様 ⑦
部長 中村 巧 様 ⑦
係長 戸渡 聡 一 様 ⑦
- 旭洋紙パルプ(株)福岡支店**
副支店長 岩成 忍 様 ④
課長代理 新納 亮 様 ④
- (株)光文堂熊本営業所**
所長 佐々木 浩 二 様 ④
- 国際紙パルプ商事(株)九州支店**
営業部部長 中舎 正 紹 様 ④
- コダック合同会社**
営業 三角 淳 一 様 ④
- (株)小森コーポレーション九州支店**
九州支店長 河村 浩 太郎 様 ⑤
営業 岡田 章 宏 様 ⑤
- サカタインクス(株)南九州営業所**
南九州営業所長 志水 俊 博 様 ⑨
九州支店営業部マネージャー 小林 芳 樹 様 ⑨
- (有)さつまグレーニング**
代表取締役 須ヶ牟田 和 幸 様 ⑱
- ダイヤミック(株)鹿児島営業所**
所長 吉留 勝 義 様 ④
- 中越パルプ工業(株)川内工場**
上席執行役員川内工場長 要 堺 由 隆 様 ③
川内工場次長兼事務部長 石原 秀 樹 様 ③
- 中越パルプ工業(株)福岡営業所**
福岡営業所所長 堀上 智 様 ③
- (株)T&K TOKA福岡支店**
支店長 元村 信 彦 様 ⑱
営業 中西 敬 王 様 ⑱
- DICグラフィックス(株)**
鹿児島営業所長 藤村 徹 様 ⑱
鹿児島営業所主任 奈良 修 様 ⑱
九州支店九州第二営業部営業二課長 市村 直 樹 様 ⑱

- 東洋インキ九州株式会社**
代表取締役社長 木戸 清 高 様 ⑤
南九州営業部部長 宮崎 宏 之 様 ⑤
- 西日本製本機材(株)**
技術部部長 竹内 充 人 様 ④
- 日米礦油(株)鹿児島支店**
販売課 吉元 孝 様 ⑦
- 日本アグファゲバルト(株)**
九州支店アシスタントマネージャー 白石 八重子 様 ⑱
- 日宝綜合製本(株)**
代表取締役社長 岩坪 誠次郎 様 ⑤
営業係長 野口 貴 夫 様 ⑤
- 日本紙パルプ商事(株)九州支社**
営業一部部長 高城 敏 博 様 ④
- 日本製紙(株)九州営業支社**
支社長代理 中村 寿 彦 様 ③
- (株)日本 HP**
デジタルプレス事業本部エリア営業本部長 奥 苑 一 臣 様 ⑱
- ハイデルベルグ・ジャパン(株)**
アカウントマネージャー 安部 讓 二 様 ⑱
- 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)**
課長 山岡 俊 之 様 ⑤
- (株)ふちかみ**
代表取締役 中島 健 一 様 ⑱
常務取締役 宮原 卓 治 様 ⑱
営業部営業部長 宮脇 和 広 様 ⑱
営業部営業課長 五島 智 幸 様 ⑱
- 丸住製紙(株)九州支店**
九州支店支店長 松木 潤 一 郎 様 ③
- (株)丸善紙店**
代表取締役 福元 清 輝 様 ⑨
- 萬誠社印刷(株)**
常務取締役 中村 和 弘 様 ⑱
- (株)ムサシ福岡支店**
課長代理 坂田 稔 明 様 ⑦
- (株)メディアテクノロジージャパン**
福岡支店長 谷 建 二 様 ⑱
- (株)モリサワ**
シニアマネージャー 新屋 幸 二 様 ⑥
- リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)**
福岡支店長 池田 信 吾 様 ⑨
営業担当課長 平野 英 典 様 ⑨
- 東京インキ株式会社 福岡支店**
営業部副部長 清村 浩 之 様 ⑱
営業部係長 馬瀬 公 洋 様 ⑱

※お名前の中の番号はテーブル番号です

※お名前の中の番号はテーブル番号です

祝宴プログラム

演奏曲目

- 1 アマポーラ | 2 愛の挨拶 | 3 上を向いて歩こう (フルート・ソロ) | 4 川の流れるように | 5 愛の讃歌



青野 なほ

鹿児島短期大学音楽科卒業。これまでにフルートを、柿本恵、故 大栄幸一、池田博幸、カイロ交響楽団首席フルート奏者 Peter Olah、NHK 交響楽団フルート奏者菅原潤各氏に師事。2013年フランス ティーニュにて開催されたムジークアルプ夏期国際音楽アカデミーにて世界的フルート奏者ヴァンサン・リュカ、上野 星矢の両氏のマスタークラスを受講。2014年 在エジプト日本国大使館にて行われた「東日本震災 追悼の催し」に演奏家として出演。その様子が、NHKワールドニュースに取り上げられるなど好評を博す。現在、日置市ジュニアオーケストラ フルード講師 南日本リビング新聞社主催のリビングカルチャー倶楽部 フルード講師。そのほか、フリーランスとして各種イベントでの演奏や吹奏楽、個人、グループレッスン等で指導を行う。薩摩フルートの会 会員、ウインドオーケストラ フォレ 団員。



南 由 希

同志社大学理工学部電気工学科卒業。国家検定1級電気施工管理技士取得。川島学園れいめい中学・高校オーケストラ部でファゴットを始める。大学進学に伴い鹿児島を離れ、演奏活動からは一時期離れる。大阪の食品メーカーの技術開発室でエンジニアとして働いた後、実家の電気工事会社にて勤務するため2010年に帰郷。社会人オーケストラでファゴット演奏を再開する。2017年5月に退団してからは病院や介護福祉施設での慰問演奏や、公共施設でのミニコンサートなどを行い地域に貢献できる音楽活動を目指す。2016年より、平成音楽大学(熊本)教授、国立音楽大学(東京)講師、高知大学教育学部講師、尚美学園ディプロマ科講師の馬込勇氏による指導の下、ファゴット演奏の技術向上に努める。2017年10月には、鹿児島建設新聞「建設業界で働く女性」に取り上げられ建設業に携わりながら仕事と演奏活動を両立する内容を掲載された。同年11月に、演奏グループ「アンサンブル和音」を結成し、演奏依頼を受けて活動中。



平塚 あすか

4歳よりピアノ、エレクトーンを始め6歳より作曲、編曲を学ぶ。鹿児島短期大学音楽科器楽専攻ピアノコース卒業後は、ヤマハ音楽教室でピアノ講師を務める。その後、広島市にて5年間にわたり演奏法、作曲、編曲法を鈴木英子氏に師事。2009年に帰郷し、自身のピアノ教室を開校すると同時に、音源制作事務所AMPを立ち上げて、作曲、編曲、アプリ音源の作成や、後進育成のセミナー活動など幅広く音楽活動に従事する。ピティナ指導会員。ヤマハ PSTA 会員。

2017年国内外10大ニュース

WORLD

- 1位 トランプ政権発足、TPP離脱
- 2位 北朝鮮、核・ミサイル開発加速
- 3位 韓国で革新系・文在寅政権発足
- 4位 金正男氏襲われ殺害
- 5位 中国、習近平体制2期目に
- 6位 英EU離脱、通商協議入りへ
- 7位 ノーベル文学賞イシグロ氏核廃絶のICANに平和賞
- 8位 核兵器禁止条約、日本は不参加
- 9位 IS「首都」陥落、壊滅状態
- 10位 欧州、中東で無差別テロ

JAPAN

- 1位 衆院選で自民大勝、立民躍進、希望失速
- 2位 陛下19年4月30日退位
- 3位 森友・加計問題、国会で追及
- 4位 神奈川で9人切断遺体
- 5位 「共謀罪」法が成立・施行
- 6位 日産、神鋼、東レなど不正
- 7位 電通で過労自殺NHKで過労死
- 8位 日馬富士、暴行問題で引退
- 9位 桐生、日本人初10秒突破
- 10位 首相、改憲20年施行に意欲



鹿児島県印刷工業組合

〒892-0847 鹿児島市西千石町12番27号
TEL 099-222-1839 FAX 099-223-1463
URL <http://www.kapia.jp> E-mail p-office@kapia.jp